被ばく低減対策好事例集

場所		分類		
原子炉建屋内	RB	TB	3	1 時間
タービン建屋内	TB			2 距離
R ZONE	R			3 遮へい
Y ZONE	Y			4 線源の除去
G ZONE	G			5 遠隔、ﾛﾎﾞｯﾄ化
その他（　）	Z			6 汚染拡大防止
				7 その他

番号	29－09－02

内容	組立式衝立遮へいの設置
作業部位	１号機タービン建屋　地下１階ヒータ室
概略	ヒータドレン配管及びトレンチ上部を遮へいシート（計1660枚）で遮へいした。その際、設置時間を短縮するため、組立式衝立遮へいを使用した。

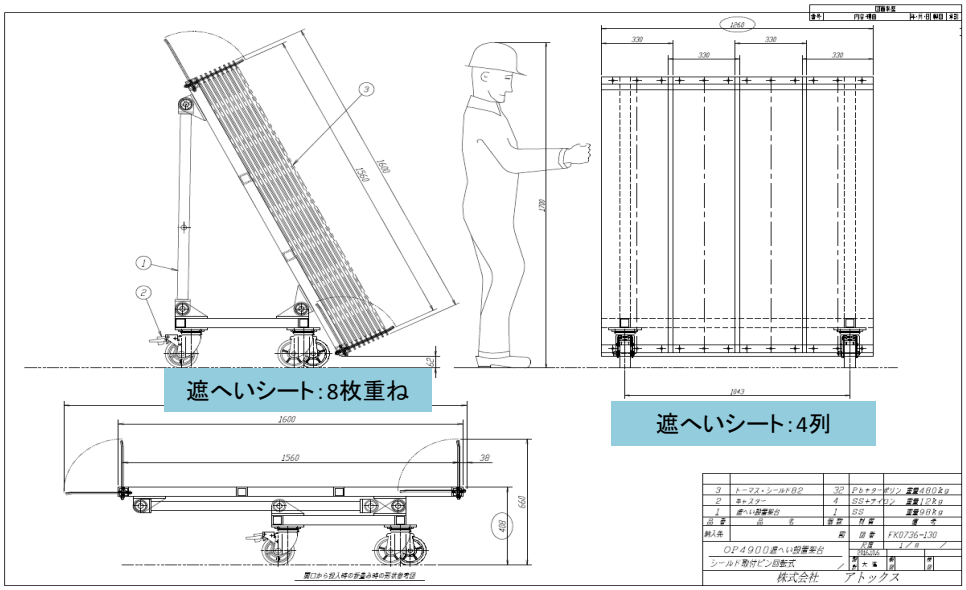
評価（定性・定量）	効果		対策前	対策後
		線量率(mSv/h)	2.8	0.11
		人工数(人日)	--	--

事例詳細

対策前　ヒータドレン配管及びトレンチ上部が高線量率であり、その部分の遮へいが望まれた。

対策内容　遮へい設置時間を短縮するため、組立式衝立で遮へいを取付けた。

組立式衝立遮へいの概要紹介



遮へいシート

鉛厚さ：3mm/枚

重量　：約16Kg/枚

組立式衝立遮へい

鉛厚さ　：24mm

鉛重量　：約512Kg/台

架台重量：約100Kg/台

組立時間：約10分/台

移動可能：ｷｬｽﾀｰ付き

分割可能：架台3分割

編集：株式会社日本環境調査研究所